

名作文庫通信

2024年秋号

新刊ご案内



『カフカ断片集』

カフカ／著 頭木弘樹／編訳 新潮文庫／刊

胸をつかれる絶望的な感情、思わず笑ってしまうほどネガティブな嘆き、不条理で不可解な物語、そして息をのむほど美しい言葉…。誰よりも弱くて繊細で、人間らしく生きたカフカが、手記やノート等に残した断片を完全新訳。 「TRC MARC」より

ちくま日本文学 文庫版

001 内田百閒

内田百閒／著 筑摩書房／刊

花火 山東京伝 件道連 豹 冥途
大宴会 流渦 蘭陵王入陣曲 山高帽
子 長春香 東京日記 サラサーテの盤
特別阿房列車など36作品が収められ
た全集です。幻想的でユーモアに富ん
だ作品をお楽しみください。



内田百閒(うちだひゃっけん) 1889 - 1971

岡山市の生まれ。本名は内田栄造。別号・百鬼園。ペンネームは郷里の百閒川にちなむ。旧制六高(現岡山大学)在学中は俳句に親しむ。東大ドイツ文学科在学中に、夏目漱石の門弟となり、芥川龍之介、鈴木三重吉、小宮豊隆、森田草平、野上豊一郎らと親交を結ぶ。東大卒業後は陸軍士官学校、海軍機関学校、法政大学等でドイツ語を教える。

借金術の大家で、借金手段を「鍊金術」と称し、「鍊金帖」という借金ノートを残している。鉄道、飛行機、船など乗り物好き、小鳥と猫を飼っていた。東京の自宅で老衰により死去、享年81歳。

生きものと名作

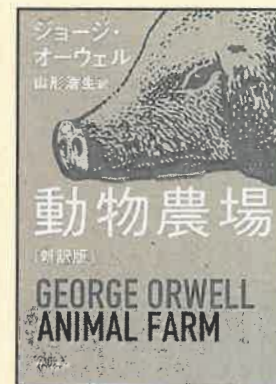
自然科学・博物学の記録のようなものや、寓話やおとぎ話での風刺・教訓など、様々な形で生きものたちが登場する名作を特集します。

動物農場

ジョージ・オーウェル／著 山形 浩生／訳
ハヤカワepi文庫／刊

飲んだくれの農場主を追い出して理想の共和国を築いた動物たちだが、ブタの独裁者に籠絡され、やがて恐怖政治に取り込まれていく…。権力構造に対する痛烈な批判を寓話形式で描いた風刺文学の名作の新訳。

「TRC MARC」より



黒馬物語

アンナ・シューウェル／著 三辺 律子／訳
光文社古典新訳文庫／刊

仲間たちと楽しく暮らしていたブラックビューティは、ときに人間たちに酷使される馬たちの姿に心を痛めていたが、彼にも都会の馬車馬としての過酷な運命が待っていて…。馬の視点から語られた動物文学の傑作。

「TRC MARC」より





季刊「名作文庫通信」
3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話:03-3396-7999